

令和5年度

木屋平中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- NIE の推進
- タブレットの活用, 交流学习の推進

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 前田 和美
委員 校長: 重本 哲也 教頭: 前田 和美
香川 充, 江藤 将, 宮田 翼

校長 重本 哲也

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等, 様々な機会を捉え, 取組状況の把握を行う。

◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み, 学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能がおおむね身に付いていて, 与えられた課題にもまじめに取り組むことができる。 ●漢字や英単語の書き取りに課題がある。 ●長い文章を正確に読み取ったり, 身に付けた知識等に関連付けたりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能を十分に身に付け, 自主的・自律的に学習に取り組むことができる。 ・学習の過程を通して習得した知識・技能が, 既習の知識・技能と関連付けられ, 他の学習や生活の場面で活用することができる。	・内容の重点箇所を捉えさせるため, 文章にアンダーラインを入れさせる。 ・週1回, 新聞のコラムの視写を実施する。 ・発問を工夫し, 生徒の生活に関連付けるようにする。 ・学習支援アプリケーションを利用し, 基礎的・基本的知識の定着を図る。 ・漢字検定, 英語検定に挑戦させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の調べたことをもとに整理して発表したり, 自分の意見を相手の立場に立って伝えたりすることができる。 ●課題に応じて, 必要な情報等を取り入れ自分の考えを深め, 新しい考えを創造することに課題がある。	・課題に対して, さまざまな情報や他者の意見を取り入れ, 自分の考えを深めたり相手に伝えたりすることができる。 ・自分の考えを述べる際には, 判断の根拠や理由を示しながら伝えることができる。	・根拠となる考えを文章にしたり, 発表したりする機会を増やす。 ・NIE の活動を通して, 「なぜ」「どうして」「どうしたらよいか」などの発問を行い, 生徒の考えを深めさせる。 ・他校との交流学习を通して, 多様な意見を取り入れ, 考えを深めさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○どの教科の授業にも落ち着いて取り組み, 自主的に疑問点を解決しようとする姿勢がある。 ●不得意な学習内容に対して, 自分で計画を立てて克服することに課題がある。	・各教科の学習で, 進んで疑問点を解決することができる。 ・毎日家庭学習に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り, 自ら課題を見つけ, 解決するために計画を立てて実践することができる。 ・積極的に新聞を読むことができる。	・疑問点に対して, ヒントを与えじっくり考えさせることで, わかる喜びを実感させる。 ・各教科において, 「どのようにしたらよいか」という課題を提示し, 自分なりの解決策を考えさせる。 ・月1回程度, 自ら立てた計画表を振り返らせ, 計画を見直し改善できるようにする。			

令和5年度 学力向上ロードマップ



